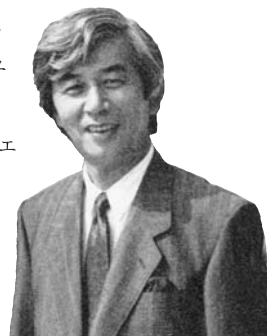


あえてタンゴモデルナ

スペイン語はフランス語などと同じに男性名詞と女性名詞があり、タンゴは男性名詞だから正確にはタンゴモデルノである、と親切にご提言いただくことがあるらしい。実は4年前、VOL 1でネーミングを考えるプロデューサーに、モダンジャズ風にモダンタンゴというスペイン語は何かと聞かれ、モデルノとモデルナの話をした。彼女は、アストロリコはモデルナのほうが雰囲気である、と、即座に決定した。こちらとしては正確を取るか、語感としてピッタリくるほうを取るか少々悩みはしたが、確かに“タンゴは男性”などと目くじら立てること自体“タンゴ新世紀の旗手アストロリコ”らしくない。麗人ラティーナもいるし、格闘家ラティーナもいる。ピアノソラの「リベルタンゴ」もリベルター(自由)とタンゴをくっつけた造語だ。この際後付けではあるが、アストロリコの斬新で繊細、芳醇に革新的な音楽こそ「タンゴモデルナ」と名付ければ良い。そして開催された“タンゴモデルナVOL 1”は、東京スカパラダイスオーケストラとのピアノ楽曲共演も含め、ネーミングにふさわしい圧巻のステージを実現した。

今回もゲストにアッと驚くアーティストを迎え、彼の名曲が門奈さんの編曲によりタンゴとして誕生する。その“時”を共有出来るオーディエンスが400人余りというのもあまりに贅沢で、男ではなかなかプロデュースする決心がつかないだろう、なるほどこれも“モデルナ”の成せる技かもしれない。

ちなみにアストロリコの名は、門奈さんが敬愛するアストル・ピアソラ、アニバル・トロイロ、レオポルド・フェデリコの3人から、と言う。日本を代表するタンゲロ門奈さんの、メンバーへの熱い想いと深く力強くしかしどこまでもやさしいバンドネオンの音色が聴こえるようなネーミングである。



筑紫哲也
(ASTRORICO題字も)

「ASTRORICOは驚異的な偉業を成しとげた日本人グループだ」

スペイン/ジャー紙

「ASTRORICOが我々にタンゴの魂を甦らせた!」

ウルグアイ/エル・バイス紙

「あの日ASTRORICOと共に演奏した“フーガと神秘”は僕たちにとって
緊張と感動とまさに神秘の一瞬だった。」

タンゴモデルナVOL 1で共演した東京スカパラダイスオーケストラ 北原雅彦

ASTRORICO (アストロリコ)

わが国屈指の名バンドネオン奏者である門奈紀生を中心に、'91年に結成。'92年4月に京都でデビュー以来、アルゼンチンをはじめ、南米・ヨーロッパ・中国など世界各地でコンサートツアーを行い、'95年にはスペイン・グラナダ国際タンゴフェスティバルに日本人として史上初の招聘出演。さらに第2回・第3回・第5回タンゴ世界サミットでも日本代表として招聘され満場の客席を魅了し総立ちにさせた。『タンゴ新世紀の旗手』と称させる独創的・意欲的活動を広く国内外で展開中。'98年8月東京デビューコンサート「タンゴモデルナVOL 1」(YEBISUザ・ガーデンホール)
'01年12月、10周年記念コンサートツアースタート。

速報!!9月下旬よりチケット発売開始!

12/13 (fri) 18:30開場 19:00開演
14 (sat) 14:00開場 14:30開演
18:00開場 18:30開演

■料金 前売り ¥5,000 (全席指定・税込み)
当日 ¥6,000

- チケット取り扱い/お問い合わせ: MARK&I TEL.03-3464-0761 FAX.03-3464-2706
- チケット取り扱い: チケットぴあ TEL.03-5237-9999
- 制作: MARK&I ●協力: ソルーナ音楽事務所
- 企画・プロデュース: まあくまさこ (MARK&I)